

扶桑昔廟最初 防府天満宮 佐加太利とは御鎮座地天神山の古来名「酒垂山」からとったものです

# 佐加太利

令和元年  
秋冬号

104号

目次

1 点描／花神子社参式

2 巻頭言

3 世界に誇る日本の皇室

5・4 寄稿 米国・クリーブランド美術館

「神道展」視察報告

東奔西走 特別編

7・6 「敬神崇祖」

〜神社を大切にすることは企業は発展する〜

8 絵馬で繋がる産前・産後の  
願いと感謝の気持ち

9 崇敬会だより

結婚おめでとう

ひたぶる

社務所だより

天神様の夏から秋〜日誌抄〜

TOPICS

12 初詣・新春の祭事行事案内



# 大嘗祭を奉祝す


宮司 鈴木宏明

天皇陛下におかせられました十一月十四日十五日の両日にかけて天皇一代に一度限りの皇室神事である大嘗祭を執り行われました。毎年宮中で執り行われる新嘗祭の中で天皇御即位後初めての新嘗祭が大嘗祭として斎行されています。

大嘗祭で天皇陛下は大嘗宮（仮設の祭場）内に設えられた悠紀殿、主基殿での九時間にもおよぶ「供撰の儀」において、占いにより特別に選ばれた栃木県と京都府で生産されたお米と粟、そして庭積机代物（全国各県より献納された海の物山の物）を天照大御神様をはじめ八百万の神々のお供えになり、五穀豊穡と国家安寧をお祈りされたのであります。そして親らもお供え（稲霊）を口にされる「神人共食の儀礼」を通し、天孫降臨神話「斎庭の稲穂の神勅」を再現せられ、万世一系の天皇のみ許されるお力を身に付けられたのであります。何とも神秘的で日本人の伝統的な美学にかなう儀式といえましょう。

ところでこの度、山口県からの庭積机代物に選ばれたものは、心を込めて奉製された橙・干し椎茸・蓮根・ちりめんじゃこ・するめの五種の幸と聞き及んでいます。どれも当地らしい農林水産物で神々も目を細めてお喜び頂いたのではないのでしょうか。そして大嘗祭が終わればこれらの品々は人知れず土に埋めて埋納する習わしでありましたが、この度の大嘗祭では食品ロスという世論に配慮し、安全に食べられるものは有効活用されたとの報道がありました。時代は移り変わり、ものに対する見る目も変化するのは当然のことと思います。しかし、大嘗祭でのお供えを単なる空腹を満たす食品として扱うのは日本人として少々残念な気がします。

天皇陛下の御存在こそ日本人のアイデンティティーの根源だと考えています。令和という時代の佳節に際し、あらためて天皇皇后両陛下並びに御皇室の弥栄をご祈念申し上げます。

※本ページの天地に掲載した（重文）松崎天神縁起絵巻は、全六巻計約75メートルにおよびます。本号ではその  の部分を紹介しています。



# 世界に誇る日本の皇室

天皇陛下におかせられましたは、令和元年十月二十二日に「即位礼正殿の儀」に臨まれ、皇居正殿松の間の高御座に登られ国内はもとより全世界に即位を宣言遊ばされました。

この儀に際しては高御座の帳が開けられ初めて天皇陛下のお姿を拝見することができました。この様子は海外メディアでも一斉に報じられましたが、その神々しさと有難さは世界の人々にも大きな感動を与えたのではないのでしょうか。また



▲高御座に登られ即位を宣言遊ばされた天皇陛下と御帳台に登られた皇后陛下

写真提供/宮内庁



▲「祝賀御列の儀」で沿道に手を振る天皇皇后両陛下。写真提供/宮内庁

日本人にとってこの光景は古事記に登場する「天の岩戸開き」の場面を思い起こされた方も多いことと思います。実は、この即位礼正殿の儀当日は朝から雨模様でした。しかし、その儀が始まると雨は止み、空からは光が差し込み、更には虹が架かるというなんとも神秘的な一日となりました。これは他ならぬ天照大神の御稜威（威光）に思えてなりませんでした。

「世界における天皇の高い格式」日本の皇室は、現存する「世界最古の王家」としてギネスにも認定されています。天皇家は、天孫瓊杵尊の曾孫にあたる第一代神武天皇より今上陛下まで第一二六代を数え、二六七九年の間、万世一系の血統を守ってこられました。それ故、中国の皇帝やヨーロッパのエンペラーと同格に列せられています。しかしながら現在皇帝やエンペラーは存在しません。それ故世界で唯一の皇帝（King of Kings）という御存在なのです。日本の歴史的背景を理解した上で、世界の国王や大統領からも天皇とご皇室には最高の敬意が払われています。



▶「即位礼正殿の儀」当日は回廊内に記帳所を設け、多くの御参拝者にご記帳頂き記念の紅白饅頭をお配り致しました。

## 天皇陛下の引き出物

♪ボンボニエール♪

「ボンボニエール」とは何かご存知ですか？「ボンボニエール」とはフランス語で砂糖菓子を入れる菓子の器のことをいい、幸せが宿る器として親しまれています。皇室では明治時代よりこのボンボニエールを天皇のご即位や皇族のご結婚といった慶事の祝宴などの出席者に贈る習慣があります。私達の目にはほとんどふれることはないでしょう。

防府天満宮には大宮司家で初代防府市長を務められた武光一氏に下賜された「昭和天皇（東宮時代）のご結婚披露宴」と「昭和天皇即位の午餐会」のものが伝わっています。（武光恵美氏奉納）

この度のご即位「饗宴の儀」で贈られたボンボニエールは…（11ページの「社務所だより」をご覧ください）



▶昭和天皇即位のボンボニエール

米国・クリーブランド美術館

# 「神道展」 視察報告



鈴木幸人

松崎天神縁起絵巻研究会  
北海道大学文学研究院准教授

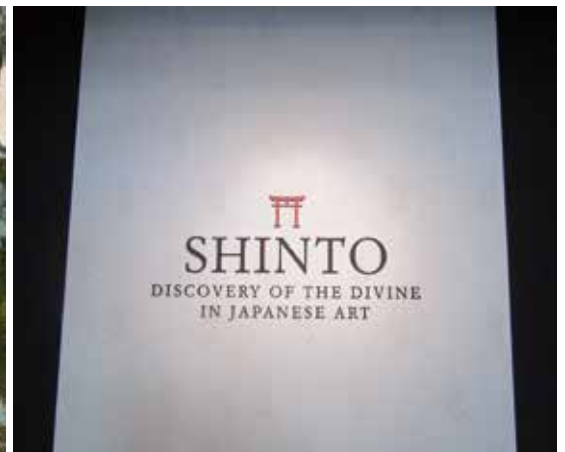
令和の新時代が幕開けした本年、防府天満宮の大切な宝物、「松崎天神縁起絵巻」と「松藤時絵文台硯箱」(ともに国指定重要文化財)が、はるかに太平洋を渡って、米国の展覧会に出品されました。その展覧会は、クリーブランド美術館(オハイオ州クリーブランド市、全米屈指の美術館)での「神道展」(Shinto:

Discovery of the Divine in Japanese Art、会期:二〇一九年四月九日〜六月三〇日、主催クリーブランド美術館、奈良国立博物館と国際交流基金が特別協力)。英文サブタイトルは「日本美術における神聖性の発見」ですので、本展は「美術品をとおして日本の神道の特徴を見出そうとする試み」となるでしょう。

米国では四十数年ぶりの神道をテーマにした大規模な展覧会で、神宝や装束、神像、縁起絵、神仏習合の曼荼羅、参詣曼荼羅、遊楽図屏風まで、総数およそ二二五点。うち日本から二〇点の重要文化財を含め六〇点ほどの出品。日本でも実現が容易でない質と規模との展覧会といえます。太宰府天満宮や大阪天満宮の天



▲街中にかかるバナー



▲入口のタイルボード

▼クリーブランド美術館の伝統と格式高い佇まい



神画像はじめ、日本国内でも出品の機会が少ない与喜天神と荏柄天神の天神彫像も出品されており（ポスターのヴィジュアルにも使われていて）、担当者の天神信仰の美術への思い入れも感じられました。

こうした画期的な展覧会ということで、鈴木宏明宮司、鈴木典子敬神婦人会会長、越智権禰宜、松崎天神縁起絵巻研究会から岡岩太郎岡墨光堂社長、朝賀浩京都国立博物館学芸部長をくわえて現地視察に伺うことになりました。同時期に米国では、ニューヨーク・メトロポリタン美術館で「源氏物語展」、およびワシントンDC・ナショナルギャラリーで「日本美術に見る動物展」を開催中で、日本美術を通して日本文化の特質を示す企画であり併せて訪問することといたしました。



▲クリーブランド美術館レモネード副館長他スタッフと懇親を深めることができました。



▲クリーブランド美術館内観

五月三十一日、メトロポリタン美術館等の展覧会を視察したニューヨークから空路、夕刻にクリーブランド到着。クリーブランド美術館日本美術担当キュレーター、シネード・ビルバー学芸員（神道展企画担当者）の案内で、同館レモネード副館長らも参加のディナーに招待いただき、展覧会や神道についての会話に時の経つのを忘れませんでした。

翌六月一日は、開館時間を待っていよいよクリーブランド美術館へ。シネード・ビルバー学芸員の出迎えを受け、彼女の流暢な日本語での解説で神道展を見学。この神道展は長らく日本に留学滞在中して研究をつづけたシネードさんのライフワークといえる企画で、充実した内容、センスと情熱にあふれた展示と申し

上げたものでした。展覧会中盤の重要な場所に位置づけられていたのが、天神信仰のコーナーであって、松崎天神縁起絵巻は、数多い天神縁起の中でも、その美しさばかりでなく縁起絵巻としての完本であり、奉納者等の奥書（おくぎ）を有し、在地性を伴うなど、指折りに重要なものであることが説かれておりました。シネードさんと鈴木宮司の絵巻を前にしての話は尽きず、私たちも異国の地で同絵巻の重要性に改めて気づかされたといえます。

このように松崎天神縁起絵巻は、海外の研究者からも高い評価を受けておりますが、ひとり防府天満宮の名を高からしめるにとどまらず、神道の特色、ひいては日本文化の特質を示す機会になったことは大きな成果と思われまます。今回のクリーブランド訪問は宝物の海外からの高い評価を実感できる機会となったばかりでなく、米国のミュージアム視察をおして得た文化財の保存活用の知見もあわせ、今後の活動の糧にいた

して参りたいと考えております。（なおすでに展覧会の会期を終えて、絵巻と文台視箱は、無事、防府天満宮に戻っております。）



▲クリーブランド美術館シネード・ビルバー学芸員から説明を受ける宮司

# 「敬神崇祖」

「神社を大切に  
する企業は発展する」  
上



学校法人  
メイ・ウシヤマ学園

理事長

山中 祥弘

▲ハリウッドプラザの茶室



▲戦前の「ハリウッド美容室」



▲昭和14年 メイ牛山は経営者牛山清人と結婚

私の義母美容家メイ牛山は、菅原道真公が一一五〇年以上も前に愛した山口県の防府市に生まれました。メイ牛山の父は塩田の仕事の関係で周防大島から移り住みましたが早くに亡くなってしまったので、メイ牛山を始め子供たちは柏木体温計に勤めておりました母に女手一つで育てられたようです。そんなメイ牛山は「防府技芸女学校」を卒業の後、昭和七年東京に住む叔母を頼りに上京し銀座の「ハリウッド美容室」に入社しました。そして、そこでの努力と実力が認められ、日本に初めてパーマネントを紹介した創業者であ

る牛山清人の妻となりました。しかし、戦争の足音が近づき始めると贅沢は戒められ昭和十四年にはパーマネントが禁止、やむなく夫・牛山の故郷である諏訪に疎開したのでした。牛山は諏訪でも才能を発揮、美容室、美容学校と化粧品工場を経営しましたが、中でも軍需品として飛行機の窓の曇り止めクリームを製造し軍属となりました。平和産業から軍事産業へと転換し生産していたわけです。戦争も終わり米軍が諏訪に進駐してきました。米軍は諏訪大社に奉納されていた「刀」を武器だとみなし

処分するというので、米国でハリウッド映画俳優としての経験があり英語が堪能な牛山は「それは武器ではない。日本人の心の象徴であり祈りの対象なので接収しないで欲しい」と懇願し、そのお蔭でその刀は接収を免れ今も諏訪大社の宝として祀られています。その後は諏訪商工会議所の会頭も務めるなど活躍し、町おこしのためにと始めた花火大会は今でも諏訪湖祭湖上火火大会として盛大に行われています。

メイ牛山はそのような夫・牛山と昭和二十五年に東京に戻ります。二人三脚努力を重ね、現在の六本木の地で再興し、ハリウッドビューティーサロン、ハリウッド化粧品、ハリウッド美容専門学校と三つのビューティグループを形成しました。以後、戦後の高度成長の中、昭和三十九年前回の東京オリンピックを経験し、ついに平成十五年六本木ヒルズに現在の社屋を完成、更には大学院を開学し、来年二月十一日の建国記念日に創立九十五周年を迎えます。

牛山は日本に帰ってから諏訪大社の刀を守った話



▲お話しされる山中理事長



▲ひと際目を引く、ハリウッドビューティプラザ入口の2本の柱

からもわかるように

日本精神を誇りに持ち、夫婦で神道と縁の深い「生長の家」

に傾倒し「敬神崇祖」の精神を重んじるようになりまし

た。メイ牛山は未婚の実弟を戦争で亡く

しているの、靖国神社にお嫁さんの代

わりにと花嫁人形を奉納しています。今ではそれが多くの人々に受け継がれ多くの人形が奉納されている

うです。その「敬神崇祖」の精神を引き継ぐ私も出張先ではその土地の氏神さまにお参りしますし、メイ牛

山の娘で私の妻・ハリウッド美容専門学校校長のジェニー牛山も毎朝出社の折には十番稲荷神社にお参りし

ています。このように「私たちの日々の生活は神さま



▲故・メイ牛山と対談する宮司 平成15年6月(社報第71号より)

### 山中祥弘プロフィール

学校法人メイ・ウシヤマ学園、ハリウッド大学院大学、ハリウッド美容専門学校 理事長 学長 教授  
公益社団法人東京都専修学校各種学校協会会長  
全国私立学校審議会連合会運営理事、ビューティビジネス学会理事長、公益社団法人日本理容美容教育センター理事、公益社団法人日本ベトナム協会代表理事、公益社団法人日本健康医療学会理事、公益社団法人日本ホスピタリティ推進協会理事

早稲田大学大学院修了後、日本初の国策ベンチャーキャピタル東京中小企業投資育成株式会社を経てメイ・ウシヤマのハリウッドビューティグループ(化粧品・美容室・美容学校)に入社、現在に至る。夫人のジェニー牛山(山中ジェニー)は同グループの創業者の長女で現在メイ・ウシヤマ学園副理事長、ハリウッド美容専門学校校長、ハリウッド大学院大学教授。創立者の教育理念である「敬神崇祖」の精神を継承し、新学期には全学生は明治神宮へ参拝している。

と共にある」と言っても過言ではありません。

因みに、このハリウッドビューティプラザビルのあるシンボリックな赤い色の二本の柱は神社の鳥居をイメージしています。ですから、このハリウッドの建物は常に神社に守られている感じがします！

「神社を大切にしている企業は発展する」というのが私たちの信念です。(次号①につづく)



▲六本木ヒルズ現社屋「ハリウッドビューティプラザ」

# 絵馬で繋がる産前・産後の願いと感謝の気持ち



▲安産祈願



▲初宮詣



▲百日御礼参り

昔から新しい命の誕生というものは、人々にとって限りなき喜びでありましたが、同時に母体も赤ちゃんも命の危険を伴う不安なものといえましょう。「七歳までは神のうち」と云われるように、子供は七歳を迎えてようやく氏子入りを果たせるといった時代もありました。なぜなら、七歳を迎えるまでに病気に罹ったりするなど、生存率がかなり低かったからです。

現在では医療技術の進歩も目覚ましく、その心配は少なくなったとはいえ、現代にあっても「五体満足で産まれるだろうか…」とか「子供にアレルギーはないだろうか…」など、親の心配は尽きず、母子共に健やかに育ってほしいと願う気持ちは今も昔も不変であります。

そんな切実な願いと、妊娠・出産・百日などの節目を迎えられたことへの感謝の気持ちを絵馬に託し、天神さまにお納めしましょう。

そうすることで、神様から心と体の安寧を戴くことができましょう。



▲老松社・若松社  
生成発展の神さま。稲作をはじめ生命を育む神様さまです。



▲御礼参り受付所



▲歯固めの石 奉納所

歯固めの石とは…  
御食い初めの時に使用する石で、「立派な歯が生えてきますように」と願いを込めて歯固めの儀を行います。

## 安産祈願

犬は多産でお産が軽いと云われ、それにあやかり多くの方が妊娠後、安定期に入った五か月目の戌の日にお参りします。

## 初宮詣

一般的に、男児は生後三十二日目、女児は三十三日目にお参りします。

## 百日の御食い初めと御礼参り

生後百日目あたりに初宮詣で授与された歯固めの石を用いて御食い初めの儀式を行います。使い終わった石は、後日天満宮に納める習わしとなっています。

人生では、このような出産に関わるもの以外にも肉体的、精神的そして社会的に幾つかの節目があります。例えば、入学、受験、結婚、厄年、年祝いなど人それぞれの節目を迎える事となります。そしてその時々々に神様に「無事」をお祈りします。祈願をすることは節目を迎えるに当たり大切なことではあります。忘れてはならないのは「無事」に過ぎた事に対する感謝の気持ちを神様に表すことではないでしょうか。この感謝の気持ちを忘れないことが、次の「無事」へ繋がることだと思えます。



# 崇敬会だより

## 「御大礼」記念事業

### 経過報告

当会におきましては、「御大礼」記念事業として「金箔六角燈籠の奉納」「菅公百人一首扁額の奉納」「調度品の新調」の各奉納願いを皆様にご案内させて頂きました。

現在、令和二年五月一日の崇敬会大祭でのお披露目に向け諸準備を進めております。改めて、ご協賛賜りました皆様方に心より感謝申し上げます。  
まだご入会でない方もこの佳節に是非

崇敬会にご入会頂きますようご案内申し上げます。

### ●第十二回研修旅行のご案内

来る、令和二年二月十二日(水)～十三日(木)に実施致します。今回は宮崎方面への研修を予定しております。宮崎神宮正式参拝をはじめ崇敬会でしか体験できない魅力満載の旅行にしたいと思っております。会員の皆様には改めてご案内申し上げますのでお誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。



▲前回の研修風景(石清水八幡宮)

### 新規会員紹介

平成三十二年四月一日以降  
入会の方々です。(敬称略)

特別会員 竹田健児 防府市上右田

家族会員 石川照代 北九州市八幡西区

中河 久 福山市西深津町

二宮孝行 呉市広石内

野村 博 宇部市棚井

石田 栄 広島市安佐南区

吉松幸子 防府市国衛

個人会員 家本哲夫 防府市駅南町

伊藤芳美 福岡市早良区

田中周一 防府市八王子

岡田利雄 防府市佐野

※崇敬会入会ご希望の方は、同封の崇敬会のすめをご覧下さい。

## ご結婚おめでとう

令和元年 (神社奉式分/敬称略)

6月1日	上田 雄太郎・麻衣
9日	藤田 駿一・望咲
15日	藤田 健太郎・美里
16日	阪本 覚・真弓
23日	坪井 雄馬・由華
29日	高橋 貴洋・舞子
30日	末松 久・弥生
7月14日	野澤 康平・美咲
11月21日	山根 賢太郎・紀恵
8月11日	井上 忠司・茉莉
8月26日	松野 和正・ダリア
9月1日	中谷 拓・奈緒美
8月1日	末成 幸雄・聡美
8月8日	堀田 大真・千鶴
14日	原田 昌宏・恵里
21日	植村 勇樹・葉月
21日	川上 真伸・麻衣子
21日	富村 直弘・典枝

10月5日

10月5日	種田 誠也・優子
13日	原 宏海・早紀
19日	松永 秀夫・千明
20日	田中 佑典・沙和
26日	余田 誠・藍
27日	本田 宏伸・小由未
29日	奥井 峻亮・裕美
29日	伊藤 雅也・智夏
29日	伊藤 元樹・美沙恵
11月1日	杉山 秀彦・佐智子
13日	杉山 秀彦・佐智子
16日	徳重 匡宏・古都美
19日	五姓田 拓也・愛美
19日	田中 太一朗・紀代美
19日	宮崎 毅・香苗
19日	大島 毅一朗・桃子
19日	内山 雅史・由紀子
19日	落合 貴宏・陽子
19日	鈴木 琢也・葵
21日	原田 竜文・多恵
22日	坂本 竜文・多恵
22日	佐々木 直・志恵瑠
22日	小野 和哉・美恵
22日	前田 裕信・千秋

### お二人の末永いお幸せをお祈り致します

※神前結婚式のお申込みは随時受付けておりますので、社務所へお問い合わせ下さい。

## ひたぶる

私は海外で生活する日本人や、訪日外国人に密着取材するテレビ番組が好きだ。放送を通し、客観的に「日本人らしさ」を見つめ直すことができるからだ。時には「この国に生まれてよかった」と、先祖への感謝の思いが溢れ、涙することもある。

「日本人らしさ」は私たちにとってあたりまえのことだが、外国人には新鮮に映り、称賛されることがある。

たとえば、幕末に来日したドイツ人考古学者シュリーマンは、旅行記のなかで「この国には平和、行き渡った満

権禰宜 峯 和生

足感、豊かさ、完璧な秩序、そして世界のどの国にもましてよく耕された土地が見られる。日本は世界でいちばん清潔な国民であることは異論の余地がない」と称えている。動乱の最中でも、日本人は神や自然に対する畏敬の念を失わず、心美しく生きていた証ではなからうか。大変誇らしく、同時に襟を正す思いである。

二〇二〇年東京オリンピックの開催が迫っている。今こそ「日本人らしさ」を世界へ発信していこうではありませんか。

## 日誌抄 (令和元年)

毎月1日 月次祭・朝粥会  
 毎月15日 月次講社祭  
 毎25日 月次祭・天神市(縁日)・月次茶会

6月1日～7月15日 筆まつり七夕書道展

2日 斐川町敬神婦人会72名様正式参拝  
 菅公みらい塾(於大専坊)  
 8日 広島県神社庁沼隈支部49名様正式参拝  
 13日 島根県須賀神社氏子総代会36名様正式参拝  
 16日 YIC看護福祉専門学校牛乳パック灯籠作成  
 18日 総代会  
 20日 敬神婦人会七夕飾り作成奉仕  
 22日 月次茶会花展花雅会グループ様ご奉仕  
 25日 小島功展「現代の浮世絵師と呼ばれた男」開催(於歴史館地下ホール)

7月1日～7月7日 夏越神事・大祓式・お田植祭  
 30日 七夕まつり(期間中夜間光の斎庭(牛乳パック)灯籠・傘玉アート)  
 1日 七夕参拝笹飾り奉納(松崎地区母子保健推進協議会様・佐波幼稚園様)  
 3日 七夕参拝笹飾り奉納(双葉幼稚園様・多々良幼稚園様・松崎小学校放課後教室様)  
 4日 七夕参拝笹飾り奉納(松崎幼稚園様・瑞祥幼稚園様)  
 6日 ひこぼし★おりひめコンサート、南京玉すだれ・傘踊り・ささら踊り、七夕茶会、光る風船を持って歩こう、オリエンタル和装体験会、浴衣モデル撮影会、小物づくり体験会、つまみ細工のワークショップ、奉納書展二次審査会  
 7日 七夕祈願祭(筆まつり)並七夕書道展表彰式、山口の日本酒まつり、浴衣レンタル&着物体験会  
 12日 青年部若梅会研修旅行博多祇園山笠視察  
 21日 松崎・佐波地区子供会お祝い(雨天につき清掃奉仕中止)  
 22日 天神囃子梅っ子おはやし合宿  
 24日 月次茶会表流平野宗順先生ご奉仕  
 25日 ヤギによる境内除草作業実施  
 29日 梅の土用干し開始  
 30日 夏休み子ども教室  
 31日 御誕辰祭(夏祭り)万灯の夕べ・ビアガーデン・ゆかた茶会敬神婦人会奉仕

8月3日 万灯祭・奉納清書奉告祭並び同展表彰式・剣道大会・子供博みこし・カラオケ大会  
 4日 防府天神大鼓奉納演奏(航空百衛隊防府南基地隊員有志・大茶碗茶会山本百次会御奉仕  
 豊稔祈願祭・夫婦円満祈願祭・柔道大会・遠の弓道大会・古武道大会・浴衣&歌謡コンサート  
 5日 日本青年会議所門前町会議連盟8名様事業繁栄祈願参拝  
 御誕辰祭当日祭・大花火大会・和太鼓奉納演奏・クラブを楽しもう・少年剣道大会・都山流尺八楽範山会邦楽コンサート(茶室)  
 花火大会会場奉仕(マツダ防府工場、お伽衆、青年部若梅会)、第一回式典保存委員会  
 防府天満宮酒垂会OB・OG正式参拝並総会  
 当宮歴史館顧問一坂太郎氏講演会(於大専坊)  
 27日 お頼み会  
 24日 月次茶会裏千家吉松宗純先生ご奉仕  
 21日 お手廻り保存会宣誓式並お手廻り保存会四十周年記念式典



御誕辰祭



大花火大会

万灯の夕べ

# 天神様の夏から秋

## 七夕まつり



新役員・総代就任・新入巫女のご紹介 (敬称略)

責任役員

野村芳子 八月一日付 新入巫女  
 山本静治 十月三十日付 尾中ゆず (山口市出身)



氏子総代

中村 隆 八月一日付 神田 進 十月三十日付  
 國弘次郎 十月三十日付 堀越政美 十月三十日付  
 奥 圭一郎 十月三十日付 田中信也 十月三十日付  
 大村 覚 十月三十日付 中村大二郎 十月三十日付  
 白石民彦 十月三十日付 宜しく願います。

## 天神様から「幸せます」

※幸せますは山口の方言で「ありがたい」とか「嬉しく思う」との意味があります。

「ご奉納ありがとうございました。」

奉納品  
 6月25日 絵画(油絵) 片岡たまえ様  
 9月26日 書 河村澄心様  
 12月5日 千支の御柱(P12掲載) 林隆雄様



# 令和二年 新春のぐし案内

令和最初のお正月

一年の幸せを願う

日本最初の天神さま

扶桑菅廟最初の防府天満宮に

お参り下さいますよう

ご案内申し上げます



2月16日～3月1日  
(2月下旬から  
3月上旬がみごろ)  
梅まつり▼



◀人形感謝祭  
受付 2月11日～2月29日  
里親探し 3月1日～5日



▲新始式  
1月5日午後3時より

◀弓始式  
1月13日午後1時より

歳旦祭 一月一日 午前二時より  
七草粥の会 一月七日 午前六時三十分より  
貞宮遙拜式 一月十一日 午前十時より

▲干支の御柱  
表参道に令和2年  
2月10日まで設置



▶節分祭・牛替神事  
2月2日・3日



告知! 2月2日

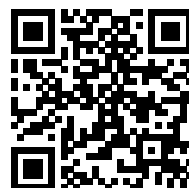
鈴木 淳 歌碑奉納  
歌手 八代亜紀 来宮



交通規制について



元日から三日まで当宮周辺は交通規制があります。  
詳細は同封の「防府天満宮初詣おもてなし MAP」もしくは  
右記 QR コードを携帯電話スマートフォンのカメラで読み  
取ってください。



さかたり第104号  
令和元年12月25日発行

発行所 防府天満宮社務所

〒747-0029山口県防府市松崎町14-1  
TEL 0835-23-7700 FAX 0835-25-0001

防府天満宮

検索

facebook

twitter

Instagram

Times